

行事報告書(研修)

報告者: 金澤 忠昭

行事名	甲山森林公園・研修会
実施日時	平成29年4月13日(木曜日)10時～14時45分 天候: 晴れ
場所	甲山森林公園内
テーマ	甲山森林公園の早春の植物観察
講師	児玉(専任)幹事
参加者数	48名
内容 (項目と概要)	<p>新入会員(6人中4名が出席)の挨拶で始まり、本年度初回の研修会を行った。管理事務所の建替えのため仮事務所を使用。参加者が多く椅子を運び入れたが、設備的にはプロジェクターの使用をはじめ問題は無かった。</p> <p>新年度の自然観察研修会の幹事として、児玉(専任)、村田、華埼(新任)、金澤が挨拶。今年度のスケジュールの説明があった。以下、プロジェクターを使い講義が進んだ。</p> <p>近年の大阪の冬季～初春の気温の比較グラフにより、今年の関西は3月の気温が低くサクラをはじめ、樹木の花の開花や展葉が遅れ気味であることの説明。</p> <p>今月の花「モクレン」では、単子葉・双子葉植物が分かれるより以前の進化的には古い種類で約9500万年前からのものであること、ハクモクレンとモクレンの違い、モクレン科のその他の植物などを学んだ。</p> <p>「春の樹木の生き様」では、越冬芽と越冬芽の違い(休眠するかしないか)。短枝の芽・長枝の芽。葉が先か花が先か。枝の展開。一斉開葉か順次開葉か、などの説明があった。</p> <p>笠間会員がケシ科の花(シロヤブケマンとシラユキゲシ)を持ち込み披露された。</p> <p>その後、野外観察に出かけた。コースは(管理事務所～正門～西入口～野外ステージ～ハナノキ～展望台～シンボルゾーン～山道～緑橋～管理事務所前の広場)</p> <p>昨年に比べて今年は遅く、ケヤキの短枝は少ししか開いてなかった。ネジキやコバノガマズミの冬芽が展開して冬芽時期とは違って見える。桜類が一斉に開花して見ごたえがある。同じ種類の植物でも様子が違う、たとえばコバノミツバツツジは葉が多い・少ない＝花が少ない・多いがある、ヤマザクラは花・葉の色や大きさが違うものがある。ハナノキは枯れてしまったのか。ヤマモモの雄花が目立つ(雌が少ないのか観察力が足りないのか)。展望台ではアカグスとアオグスの違いがはっきり判った。リンゴツバキ(の園芸種)は花が大きい。去年同時期に咲いていたカスミザクラ、マルバアオダモ、ザイフリボクは未だ咲いていなかった。やはり今年は遅い。</p> <p>昼食後のミニ研修は円形広場で、22期の大地・関根さんの「クイズでガッテン!!」。5グループに分かれ、植物・動物に関する4択クイズで競ったが全問正解チームは出なかった。(次回は22期小山さんをご担当。</p> <p><資料> 今月の花「モクレン」(児玉) 早春の樹木の生き様と観察(改訂版、児玉)</p>
まとめ感想	ソメイヨシノの満開を存分に楽しめた(日本で良かった)。ヤマナラシのヒコバエ、アケビの雄花と雌花などが印象に残った。



仮事務所での講義



サクラ満開の円形広場で